

入院見舞金の給付対象となる自宅（宿泊）療養期間について

■ 対象となる 自宅（宿泊）療養期間

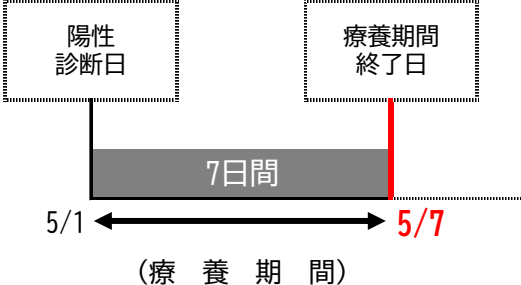

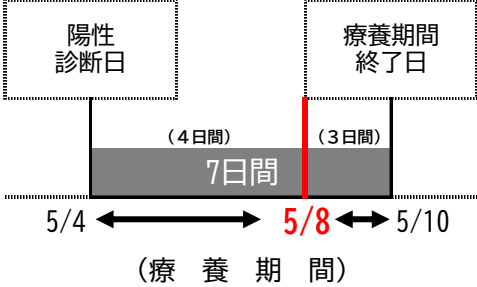

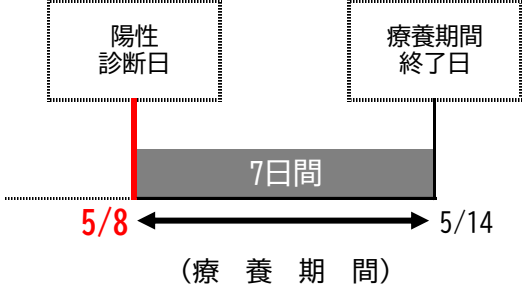

- 令和5年5月7日までに陽性と診断された場合の療養期間

→ 連続して7日以上の場合が対象〔例1〕

→ 令和5年5月8日を跨いで7日以上になる場合も対象〔例2〕

□ 対象とならない 自宅（宿泊）療養期間

- 令和5年5月8日以降に陽性と診断された場合の療養期間〔例3〕

〔例〕 自宅（宿泊）療養期間	入院見舞金
<p>〔例1〕</p>  <p>Point 5/7までの療養期間が7日間以上なので対象</p>	<p>対象</p> 
<p>〔例2〕</p>  <p>Point 5/7までに陽性と診断をされ、療養期間が連続して7日間以上のため対象</p>	<p>対象</p> 
<p>〔例3〕</p> <p>Point 5/8以降に陽性と診断された場合、入院を要しない療養期間は対象外</p> 	<p>対象外</p> 

※ 「陽性診断日」は検査日であり、発症日や休暇開始日ではありません。

※ 通常入院が7日以上連続する場合は、従来通り給付対象となります。

※ 請求期限は3年間です。